

文部科学大臣杯 第78回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会 大会要項

ver.20230815

主催	日本学生自転車競技連盟			
共催	公益財団法人日本自転車競技連盟	大田市		
運営協力	長野県自転車競技連盟			
後援	スポーツ庁	千葉県	大田市教育委員会	大田市スポーツ協会
	大町美麻ロードレース大会実行委員会		美麻地域づくり会議	
協賛	公益財団法人JKA	公益社団法人全国競輪施行者協議会	一般社団法人日本競輪選手会	
	井上ゴム工業株式会社	株式会社パールイズミ	WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)	
	マルコメ株式会社	医療法人社団厚生会横澤内科医院	株式会社相模組	株式会社長澤設備工業
	鹿島槍スポーツヴィレッジ	北安醸造株式会社	JA大北	株式会社大八木建設
	合資会社横川商店	株式会社トーエル	セブンイレブン大町上橋店	株式会社こうそく
	有限会社リペアオート美麻	株式会社高橋組	有限会社丸中興業	有限会社伊藤組
	北陸コカ・コーラボトリング株式会社	株式会社甲信マツダ		株式会社市野屋
協力	株式会社日直商会	ブリヂストンサイクル株式会社	北アルプス地域振興局	大町建設事務所
	大町警察署	北アルプス広域大町消防署	株式会社PIST6	株式会社JPF
	一般財団法人日本サイクルスポーツ振興会			(複数標記部分順不同)

期日	トラック & ロード			
	トラック：2023年	8月23日(水)	20時00分	チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者Zoom会議
		8月25日(金)	9時00分	トラック参加選手 出走者確認+ゼッケン配布 (於：トラック競技場内 9：30 終了予定)
			10時00分	競技開始
			12時10分	開会式(アナウンス放送で・一部の役員選手の整列あり)
			競技終了後	表彰式 /トラック競技種目別 於：トラック競技場内
		8月26日(土)	8時00分	2日目からのトラック参加選手 出走者確認+ゼッケン配布 (於：トラック競技場内 8：30 終了予定)
			9時00分	競技開始
			競技終了後	表彰式 /トラック競技種目別 於：トラック競技場内
		8月27日(日)	8時00分	3日目からのトラック参加選手 出走者確認+ゼッケン配布 (於：トラック競技場内 8：30 終了予定)
			9時00分	競技開始
			競技終了後	表彰式 /トラック競技種目別・トラック部門総合
	ロード：2023年	8月31日(木)	20時00分	チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者Zoom会議
		9月2日(土)	14時00分	男女ロード 出走者確認+ゼッケン・プレート配布 (於：大町市美麻支所 14：45 終了/補欠起用届提出期限)
			15時30分	ロード注意事項確認会議 於：大町市美麻支所
		9月3日(日)	7時45分	女子競技開始(5周=67.0km)
			10時00分	男子競技開始(13周=174.2km)
			15時30分	ロード部門表彰式・総合表彰式・閉会式 (於：大町市美麻支所/予定 16：30 終了予定)

尚、大会当日スタート直前のセーフティ・ライド研修会は実施されないもので、研修は事前に受けておくこと。
研修会開催の予定および詳細については、別途発表のコミュニケを参照すること。

会場	トラック：千葉県千葉市 TIPSTAR DOME CHIBA (千葉JPFドーム・250m屋内トラック)
	ロード：長野県大町市美麻地区 公道周回コース 1周 13.4 km
大会主旨	本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)の学校対抗形式による種目別の優勝者を決め、種目別の順位により与えられる対抗得点の合計をもって選手権校を決定する大会である。
競技種目	1. 男子の部：スプリント、1kmTT、ケイリン、4kmIP、タンデムスプリント、4kmTP、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース 174.2 km (13周=174.2 km) 2. 女子の部：スプリント、500mTT、3kmIP、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース 67.0 km (5周=67.0 km)

参加資格

(男女共通)

- 会場入場者全員
 - 別途コミュニケ等により発表する感染対策等の指針と現場における指示に従うこと。
- 出場選手
 - 所定の座学講習会、実地研修会を過去12ヶ月以内・事前に少なくとも座学講習会を2回、実地研修会を1回以上受講済であること。
 - 本年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟(以下、「JCF」という)登録競技者のうち本連盟加盟校の登録選手であること。
- 大会参加基準(男子選手のみ)
 - 本年度本連盟大会参加基準(以下「参加基準」という)を満たしている者。補欠選手も大会参加基準を満たしていること。
- チーム監督/代表者
 - チーム監督/代表者はUCIコーチ資格、日本スポーツ協会上級コーチ・コーチ・指導員資格、JCFチームアテンダント所持者に限る。
 - チーム監督/代表者は、別途コミュニケ等により発表する所定の座学講習会を事前に受講済であること。
- チームスタッフ
 - JCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。
 - トラック会場ではエントリーシートにより届け出たチームスタッフのみがインフィールドに立ち入ることができる。

- ・本大会はトラックとロードそれぞれのチーム役員登録証を提出する必要があるが、基本的にエントリーシートに記入したチームスタッフのみが、チーム役員に登録できる。詳細についてはコミュニケ等を参照すること。

6. 供出役員

- ・本大会においてはエントリー選手数（補欠を含めた男女合計）に応じて、以下の通り役員を供出することを参加条件とする。
- ・トラックでは、エントリー選手数8～11名で1名、12名以上で2名を供出すること。
- ・ロードでは、エントリー選手数3～4名で1名、5～6名で2名、7～8名で3名、9名以上で4名を供出すること。
- ・供出役員に審判ライセンスの有無は問わない。
- ・供出役員は本大会参加選手並びにチームスタッフと同様に「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを参加条件とする。
- ・供出役員については昼食を支給する（但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない）。また、供出役員の氏名、性別、学年又は年齢および有資格（審判・チームアテンダント）のライセンス番号をエントリー用紙に必ず記入すること。

7. 供出役員の変更

- ・エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の供出役員の変更は認めない。尚、変更後の供出役員についても「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを条件とする。
- ・当日エントリー選手数が減少した場合でも、供出役員の人数は減らすことはできない。また、供出役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には、代替りの者を出すこと。代替りの者を出せない場合には、該当する大学・チームに対して、1名の不足につき10000円のペナルティを科す事を原則とする。
- ・但し、新型コロナ感染の陽性者が出たことで、一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。供出役員についての対応を協議した上で改めて指示する。詳細については別途発表するコミュニケを参照すること。

8. 主催者が認めた若干名のJCF強化指定選手のオープン参加を許容する場合がある。（女子選手の男子レースへの参加を含む）（男子トラックレース）

- 9. 1人2種目迄、但し4kmTP、チームスプリントはこの数に含まない。1校あたりの最大人数は補欠を含め13名迄とする。
- 10. 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。
スプリント=2名迄、1kmTT=2名迄、4kmlP、ケイリン、オムニアム=1名、タンデムスプリント、マディソン=1組、4kmチームパーシュート=1チーム（6名/出走4名）、チームスプリント=1チーム（5名/出走3名）
- 11. 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名、タンデムスプリント・マディソン2名迄とする。
- 12. マディソンの参加条件については以下の通りとする。UCI、JCF及び学連主催大会のマディソンレースにおいて走行経験のある者とする。補欠についても同様とする。なお、エントリー数により予選を行う場合がある。

（女子トラックレース）

- 13. 1人2種目迄、但しチームスプリント、マディソンはこの数に含まない。
- 14. 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。
スプリント、500mTT、3kmlP、オムニアムは各校2名迄、マディソンは2組迄、チームスプリント1チーム（5名/出走3名）。
- 15. 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名迄、マディソンは2名迄とする。
- 16. 女子自転車競技の普及発展の観点から、女子チームスプリントのオープン参加を認める。オープン参加なので学校対抗得点の対象外であり、かつ表彰の対象とはならない。尚、学校対抗のチームで正式エントリーした選手は、正選手・補欠にかかわらずオープン参加はできない。オープン参加する場合、エントリー用紙にオープン参加するチームの他の学校の選手の氏名・学校名も記入すること。また、オープン参加チームのジャージは各自所属する学校のものを着用すること。

（ロードレース）

- 17. 男子は当該年度ロード・カテゴリ・クラス1若しくは2に属する者。1校8名迄、補欠選手登録2名迄。最大計150名。尚、出走予定人数が150名を超えた場合、下記の順に150名までを選出する。
(1) 本年度のロード選手権ランキング
(2) 前年度のロード選手権ランキング
(3) 本年度ロード・クラス1の者
(4) 本年度ロード・クラス2の者で、本年度RCSランキング保持者、定員を超える場合はランキング順
(5) 上記にて定員に達しない場合、本年度ロード・クラス2の者の前年度RCSランキング順
なお、補欠については本年度ロード・クラス1または2とし、上記人数に含まない。
- 18. 女子は1校6名迄、補欠選手登録2名迄。

参加申込

1. エントリー申込

- ・所定の様式（エクセル）でエントリー専用電子メールアドレス宛てに本連盟事務局まで申し込むこと。
2023jicf.championship@gmail.com（アドレスが変更されていますのでご注意ください、2020→2023）
- ・トラックとロードそれぞれ専用の書式を使用するので、間違わないこと。
- ・エクセル様式申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。エクセル様式の到着を以て参加申込の正式受領とするが、相当するエントリー概要内容をGoogleフォームにて期限内に送付する事。
トラック <https://forms.gle/hWuVdzrjBVNnYJHTA>
ロード <https://forms.gle/mkzq3wfx5nSQKQpp8>
- ・本連盟ウェブサイトにエントリー受信者リストを公表するので、各自確認のこと。
- ・大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

2. 男子参加申込可能者（ロード）

- ・男子参加申込者数が150名を超えた場合には、上記の参加資格17.の方法により選出を行い、本連盟HP上に150名の参加

申込可能者のリストを掲載する。参加申込可能者は本連盟HPで発表する期日までに、下記の口座へ参加料を振り込むことで、本エントリー手続きが完了する。

- ・なお、150名の参加申込可能者のリストが掲載されるか、または申込者全員が参加申込可能者である旨の発表があるまで参加料を振り込むではない。振込期限はその発表の際に指定する。

3. 参加料

男女とも正選手・補欠選手にかかわらずトラック、ロードそれぞれ1名8,000円とする。

4. 申込期限および参加料納入期限

- ・トラックの申込期限及び参加料納入期限は、男女とも7月24日（月）必着とする。
- ・ロードの申込期限は、男女とも7月31日（月）必着とし、エントリー用紙のみ上記アドレスへ送ること。この時点でロードの参加料の振込は行わないこと。なお、男子のエントリーについては、上記の締切日以後のエントリー用紙提出はいかなる理由があろうとも、一切認めない。
- ・ロードについては全員のエントリーが確認でき次第、参加申込可能者のリストを本連盟HP上に掲載する。
- ・男子の参加申込可能者及び女子は本連盟HPで発表する期日までに、下記の口座へ参加料を振り込むことで、ロードのエントリー手続きが完了する。尚、男子の参加申込可能者のリストがHPに掲載される前に振り込みを行い、150名以内の選考に漏れた場合には参加料は返却しない。

5. 参加料振込先

長野県労働金庫（ろうきん） 諏訪湖支店 普通 9687387 口座名義 日本学生自転車競技連盟

送金名義人について、トラックは振込元に大会コード0825と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。ロードは振込元に大会コード0903と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。銀行振込以外の支払方法は認めない。大会毎に送金口座が異なるので注意すること。

6. 返金

- ・一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、感染等の事由で本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。
- ・また、当日の体調不良や新型コロナ対策の履行を妨げることにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。

7. 欠場

- ・本大会における欠場については理由を問わず（怪我等の正当事由がない場合でも）ペナルティを課さないこととする。ただし、必ず事前に事務局（jicf@remus.dti.ne.jp）まで電子メールで欠場の連絡をすること。
- ・また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合には参加料は返却しない。

8. 上記の申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。

会場入場

1. チームスタッフの登録

- ・選手数+1名を上限（選手1名ならば、2名まで）としてチームスタッフの登録を行うことができる。
- ・監督とコーチはチームスタッフの合計人数に含まれる。
- ・選手以外のチームスタッフ全員の氏名をエントリー用紙に記入すること。
- ・登録されたチームスタッフのみが、インフィールド内への立ち入りを許可される。
- ・トラックレベルに入れるスタッフ数はJCF規則・大会コミュニケによる。
- ・本大会はトラックとロードそれぞれのチーム役員登録証を提出する必要があるが、基本的にエントリー用紙に記入したチームスタッフのみが、チーム役員に登録できる。詳細についてはコミュニケ等を参照すること。

2. 登録スタッフの変更

- ・エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までには当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。尚、変更後のスタッフについても「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを変更の条件とする。

3. メディア関係者

- ・来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催3日前の22時までには取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。

選手受付

1. ライセンスコントロール

- ・ライセンスコントロールはトラック、ロードともに事前にデータ上でを行い、大会受付の現場では行わない。

2. 大会受付

(トラック)

- ・トラックの参加選手は別途コミュニケ発表の受付時間内にトラック競技場内の大会受付にてゼッケン等を受け取る。この時点で、招集の代わりとするので欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。

(ロード)

- ・ロードの参加選手は別途コミュニケ発表の受付時間内に指定場所の大会受付にてゼッケンとプレートを受け取る。欠場する場合は該当する選手の氏名を受付に申し出ること。
- ・補欠選手起用届およびチーム役員登録証（ロード）をこの受付時間内に受付に提出すること。これ以降は補欠選手起用届とチーム役員登録証（ロード）の提出は認めない。

3. 補欠選手の起用届とチーム役員登録証

(トラック)

- ・補欠選手起用届およびチーム役員登録証（トラック）を別途コミュニケ発表の受付時間内に受付に提出すること。これ以降は補欠選手起用届およびチーム役員登録証（トラック）の提出は認めない。
- ・TPとTSPについては、当該番組開始1時間前までにTP・TSP出走選手届をセクレタリに提出すること。

(ロード)

- ・補欠選手起用届およびチーム役員登録証（ロード）を別途コミュニケ発表の受付時間内に受付に提出すること。これ以降は補欠選手起用届とチーム役員登録証（ロード）の提出は認めない。
- ・ロードは男女とも上記受付時間の終了を補欠選手起用届の提出の最終期限とし、その際、不出場となる正選手のゼッケン・プレートと引き換えに補欠選手のゼッケン・プレートを配布する。これ以降の補欠選手起用届の提出は正選手の病気・怪我等などの理由を除き、基本的に認めない。

4. バイク・インスペクション

(トラック)

- ・トラックの参加者は、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションを受けること。但し、選手は基本的にマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。詳細は別途発表するコミュニケにて確認すること。

(ロード)

- ・ロードの参加者は、自転車・ヘルメットを持参して出走15分前までにバイク・インスペクションを受けて出走サインを済ませること。但し、選手は基本的にマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。詳細は別途発表するコミュニケにて確認すること。

(トラック・ロード共通)

- ・レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となる場合がある。

5. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

6. トラックにおいて予選に参加した選手以外の選手が予選以降の競技に出走することは認められない

対抗得点

1. 男子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。なお、男子のトラック団体種目とは4 kmTP、チームスプリントをさす。尚、男子オムニウムは団体種目の得点を適用し、マディソンは個人種目の得点とする。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~15	16~20
トラック個人種目	9	7	6	5	4	3	2	1				
トラック団体種目	14	12	10	8	6	4	3	2				
ロード	14	12	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

ただし、男子ロードレースについては各校ごとに上位3名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。

2. 女子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
トラック個人種目	7	5	4	3	2	1				
トラック団体種目	10	8	6	4	3	2				
ロード	10	8	6	5	4	3	2	1	1	1

ただし、女子ロードレースについては各校ごとに上位2名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。女子のトラック団体種目とはチームスプリントをさす。女子オムニウム、マディソンの対抗得点は個人種目の得点を適用する。

3. 総合順位は、男女別ロード部門とトラック部門の対抗得点の合計の多寡をもって決定する。同得点の場合には、トラック競技・ロード競技の各種目上位8名までを対象として、上位者が多い学校を上位とする。トラック部門総合とロード部門総合それぞれの順位についても、同様とする。

賞典・式典

1. 開会式は時程表に従い、競技場内にて放送アナウンスにて行う予定です。閉会式は、ロード競技終了後準備が整い次第行う予定です。開会式・閉会式については別途発表するコミュニケにて詳細をご確認ください。
2. 総合成績・種目別成績について、順位に従って下記の範囲を入賞者とし、つぎの賞品・賞状を授与する。
 - 1) 総合成績（男子） 優勝：文部科学大臣杯・優勝旗・賞状、2・3位：賞杯・賞状、4~8位：賞状
（女子） 優勝：優勝杯・賞状、2・3位：賞杯・賞状、4~6位：賞状
 - 2) トラック（男子個人） 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~8位：賞状
（女子個人） 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~6位：賞状
 - 3) トラック部門総合成績（男子）1~8位：賞状（女子）1~6位：賞状
 - 4) ロード（男子個人） 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~10位：賞状
（女子個人） 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~6位：賞状
 - 5) ロード部門総合成績（男子）1~8位：賞状（女子）1~6位：賞状
3. トラック種目の表彰式は、第3位以上が出席して、時程表に基づき、競技場内にて行う。
4. ロード種目・総合成績の表彰式は、閉会式の中で行う。時間・場所・式進行上の注意等については別途発表のコミュニケにて詳細を確認すること。
5. ロード種目の表彰式において、本大会ロードレースの覇者（男子・女子）を擁する各チームに高木秀彰賞を授与する。

事故措置

1. 競技中発生した事故等について参加者は自ら責任を負う。
2. 主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応のこと。
3. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入のこと。
4. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。
5. 主催者において加入している傷害保険は、死亡500万円、入院・通院保障なしである。

肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

競技規則

JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

司法管轄

本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争（裁判所の調停手続きを含む）は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したと見做す。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構（JADA）への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408
Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

大会特別規則

第1条（チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者会議）

1. 2023年8月23日（水）20時00分より、事前にリモートでトラックのチーム監督/代表者・感染対策責任者会議を行う。参加チームの監督、感染対策チーム責任者は必ず参加すること。
2. 2023年8月31日（木）20時00分より、事前にリモートでロードのチーム監督/代表者・感染対策責任者会議を行う。参加チームの監督、感染対策チーム責任者は必ず参加すること。
3. それぞれの会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者のE-mailアドレスに送付する。
4. やむを得ない事情により会議を欠席する場合は、必ず会議前日の22時00分までに学連携帯090-2207-2369へ連絡をし、事務局（jicf@remus.dti.ne.jp）までその旨のメールを送り、事務局の許可を得ること。
5. 無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

第2条（スプリント）

男子は予選タイム上位8名が1/4決勝に、女子は上位4名が1/2決勝に進出する。男子の1/4決勝は1回戦制で行う。尚、男女とも5～8位決定戦は行わず、予選の200mFTTの結果により5～8位を決定する。（UCI規則3.2.050の世界選手権大会の組合せ表に準ずる）

第3条（4kmIP、3kmIP）

予選の結果により第5～8位を決定する。予選では追抜きがあった場合でも両名完走タイムを計時する。予選の上位2名により決勝戦を、予選タイム3、4位により3～4位決定戦を行う。

第4条（タンデムスプリント）

別途定める「日本学生自転車競技連盟タンデム器材運用基準」に適合している器材であると同時に、後輪の駆動側にチェーン引き又は同等の効力をもつ緩み防止装置の装着を義務付ける。装着なき場合はレース・練習を問わず使用を禁ずる。予選の結果タイム上位8チームが1/4決勝へ進出する。1/4決勝は1回戦制で行う。尚、5～8位決定予選及び、5～6位、7～8位決定戦は行わず、予選の結果により5～8位を決定する。（UCI規則3.2.050の世界選手権大会の組合せ表に準ずる）

第5条（オムニアム）

男子はスクラッチ10km、テンポレース10km、エリミネーション、ポイントレース25kmで行う。
女子はスクラッチ7.5km、テンポレース7.5km、エリミネーション、ポイントレース20kmで行う。
男女とも、参加エントリーがトラックの制限（JCF規則第63条）による最多数の競技者を超える場合は、予選（ポイントレース）を行う。予選のポイントレースの距離について男子は15km、女子は10kmで行う。

第6条（マディソン）

男子は参加エントリー数が多く安全なレースの実施が困難と思われる場合に予選10km（40周）を行い、男子の決勝は30km（120周）で、女子は決勝のみ20km（80周）で行う。尚、女子について4チーム未満のエントリーである場合は、試合を実施しない。

また、参加資格（男子トラックレース）8にある走行経験は、本大会エントリー申込期限後である本年8月5・6日に開催されるTRS#3でのマディソンにおいての走行を経験した者を含むものとして、エントリー申し込みをすることができる。但し、前記の大会にエントリーはしたが、実際のレースにおいてこれらの条件を満たさなかった者については、本大会のマディソンへのエントリーを取り消す。

第7条（4kmTP）

予選の結果により第5～8位を決定する。予選では追抜きがあった場合でも両チーム完走タイムを計時する。予選の上位2チームにより決勝戦を、予選タイム3、4位により3～4位決定戦を行う。また、ラウンド毎の選手変更を可とし、当該競技番組開始1時間前迄に出走者変更の有無に係わらず、出走者リストをセクレタリに提出のこと。

第8条（男女チームスプリント）

予選の結果により第5～8位を決定する。予選の上位2チームにより決勝戦を、予選タイム3、4位により3～4位決定戦を行う。また、ラウンド毎の選手変更を可とし、当該競技番組開始1時間前迄に出走者変更の有無に係わらず、出走者リストをセクレタリに提出のこと。

第9条（個人ロードレース）

1. スタート位置 出走選手のうち、昨年度の本大会本種目における上位10名までの選手に最前列でのスタートを認める。
2. 器材補給
 - 1) 男子・女子共に主催者にて代輪等を積載できる共通器材車を用意する。また、主催者が準備する代輪を若干数は用意するが、ディスクブレーキ用のホイールは用意しない。共通器材車にディスクブレーキ用のホイールの積載を依頼す

る場合は同時に専用工具も準備し、搭載を依頼すること。

- 2) 各校にて用意した代車・代輪の交換を大会コミュニケにより指定した場所でのみ認める。
- 3) 事故やパンク等の場合に選手間での自転車、車輪を交換することは、同一校の選手間に限って認める。

3. 食料補給 飲食物の補給を別途大会コミュニケにより指定する場所と周回でのみ認める。

4. 失格の取扱い

- 1) 原則として、先頭より一定時間遅れた選手及びコミッセルが完走不可能と判断した選手は、失格とし競技より除外する。打ち切り時間は別途定める。
- 2) 前項の規定以外にも突発事故の発生等により競技中の選手を除外する事がある。その場合はコミッセルの指示に従うこと。
- 3) 競技を中止あるいは除外された選手は、速やかにゼッケンを外すか、ユニフォームを裏返してゼッケンを見えなくすること。

5. 正式スタートまでのパレード区間の距離は、大会コミュニケで発表する。

6. ロードレースについては一般公道を走行可能な装備で参加のこと。ベル・反射テープの装着も必須とする。

第 10 条 (器材/トラック・ロード共通)

1. 当連盟 HP に掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。(例えば、本大会のロードレースの場合「公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。トップギア時のペダル1回転あたり前進距離を 10.3m 以内に制限する。(参考：通常 700C ホイール、53×11で 10.217m)」など詳細は本規定を確認すること)
2. これら器材に関する条項に違反していることがスタート時に発覚した場合は、スタートは拒否される。
3. また、スタート後及びゴール後に違反していることが発覚した場合は、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となることがある。

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI 規則 1.1.004, JCF 規則第 5 条 2. (4))
- 2 大会 (競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む) における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF 規則第 5 条 2. (9) 準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI 規則 1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI 規則 1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI 規則 1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしめたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCI および自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI 規則 1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI 規則 1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI 規則 1.2.082)

以上

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。